

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】					化学系学士教育プログラム				
	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	(基礎化学)化学の基本的な理論、実験操作等を修得する。		○				○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 化学の基礎理論を学び、実際に実験を行うことにより、問題解決力や情報処理能力、あるいは協調性を高めることができるから								
	(地域特性化学)亜熱帯・島嶼・海洋の地域特性を活かした化学の素養を修得する。			○				○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 地域特性を活かした授業により、地域の自然に対する理解を深めることができるから								
	(汎用な基礎能力)問題解決力、自律的に行動する習慣、基本的なプレゼンテーション能力、語学力、情報処理能力など汎用な基礎能力を修得し、その知識・技術等を積極的に地域・社会に還元でき、様々な分野で活躍できる素養を身に付ける。	○	○			○	○	○	○
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 最終学年において、1年間卒業研究を行い、卒業研究発表を行うことにより、問題解決力、自律的に行動する習慣、基本的なプレゼンテーション能力、情報処理能力などを高めることができるから								
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									